

第4回「文化的なまち まつぎき」

松崎町を訪れる方は口をそろえて、次のように話します。

「このまちは懐かしい中に、どこか文化的な香りが漂っている」

松崎町は、歴史と文化の薫る町として、観光を中心産業に据えて発展を遂げてきました。中でも国の重要文化財である岩科学学校や静岡県指定文化財である旧依田邸、なまこ壁の建造物など、多くの古い建物を残してきた先人たちの思いや行動が文化的なものを感じさせているのだと思います。

また、町並みを花で飾ったり、偉人を敬っていることもその一つです。松崎町は古くから商業港として栄え、人や物、お金や文化が盛んに行き交っていた歴史があります。少子高齢化によって人口減少が進む今こそ、松崎町の歴史・文化を世界に発信し、多くの方に訪れていただき、町の歴史・文化を感じてほしいと願っています。なまこ壁などの漆喰文化を芸術の域まで昇華させた左官職人・入江長八の作品を展示している「伊豆の長八美術館」があることも誇れることと思います。

この機会に皆さんも長八美術館を再訪し、松崎らしい文化芸術に触れてみていただけたら、来訪者の感じるものが分かるかもしれません。